

夏休みの自由研究補助シート

せっかくの夏休みの自由研究です。単純に「〇〇をやってみた」といった、楽しい YouTube の動画のマネにならないようにしましょう。もちろん、マネから疑問が生れて、更に追加実験をするということであれば、それは素晴らしいことですので、否定はしませんよ！

大事なのは、「なんかすごかったな」「上手くいったな」「上手くいかなかったな」という部分で、満足するのではなく、その理由はなぜだろう？と自分なりの予想をもって、解決のために更に実験することです。時間をかけて丁寧に取り組めるといいですね！

【 自由研究レポート 作成の流れ 】

- ① 実験・研究・観察の動機・・・どうしてその実験などをしようと思ったのか
- ② 予想・・・このようになるのではないかな。
- ③ 方法・・・どのようにして調べていくのか。用意するものなどもここに一緒に記入するよ！
- ④ 見通し・・・実験などはこのような結果がでるのではないかな。
- ⑤ 実験①・・・写真などで手順を撮影し、印刷して資料にはりつける。説明書きをそえる。道具や材料も書いてあると*
- ⑥ 結果・・・実験の結果をかんけつにまとめる。
- ⑦ 考察・・・予想や見通しではこうだったが、実験結果はこうだった。これは〇〇が△△だったからだと考えた。

では、これだったらどうなるのだろうか？ と、次の疑問

- ⑧ 疑問・・・実験①の結果を受けて、このような疑問が浮かんだので、これを調べてみたい！

- ⑨ 予想
 - ⑩ 方法
 - ⑪ 見通し
 - ⑫ 実験②
 - ⑬ 結果
 - ⑭ 考察
- 2 セット目

- ・ } ここでまた疑問～考察までをもう 1、2 セットやってもよい！！
- ・ }
- ・ }

- 全体のまとめ考察
- 今後の課題・・・今回の実験などを通しての反省点や良かった点、
- 感想・・・感想・今後の生活にいかしていきたいと思ったこと

という流れで、実験などが3つくらいあると自由研究のレベルがぐんと上がります！

【オススメの提出方法】

- ・クリアフォルダーにルーズリーフなどの紙を差し込んでいくタイプがおすすめです。
- ※後から順番を入れ替えたり、写真などの差し込み資料を入れられたりして便利です！

【よくない例】

- ・調べなくても想像がつく内容のもの。
- ・ホームページや本を丸写しのもの。(追加実験なども無し)
- ・たくさん調べて数値などもたくさん記録したけど、考察が 2, 3 行しか書かれておらず、「だからどう思ったの？」と聞きたくなるようなもの。
- ・実験の調査回数が 1 回しかないもの。3 回以上は調査をしないと本来の数値ではない可能性があるよ！
- ※二重とびが 5 0 回できる人でも、調子によっては 2 0 回でひっかかっちゃうかも知れないよね。でも 1 0 回くらい真剣にとんだら、平均は 5 0 回近くになりそうだね。つまり、調査回数が多ければ多いほど、本来の実力(数値)が出るということなんだね！